

令和6年度進行管理・評価シート
栃木市歴史的風致維持向上計画（平成31年3月26日認定）
（最終変更 令和7年5月30日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 歴史的風致維持向上計画の実施体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 都市計画法との連携	2
2 景観計画との連携	3
3 屋外広告物について	4
4 栃木市歴史的町並み景観形成要綱について	5
5 重要伝統的建造物群保存地区との連携	6
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 歴史的風致形成建造物修理・修景事業	7
2 嘉右衛門町伝建地区拠点施設整備事業	8
3 伝統的建造物公開活用事業	9
4 嘉右衛門町伝建地区修理等事業	10
5 伝統的技術継承事業	11
6 嘉右衛門町伝建地区防災施設等整備事業	12
7 村檜神社修理整備事業	13
8 景観重要建造物保全事業	14
9 歴史的町並みに関する修景助成事業	15
10 景観形成重点地区指定に関する調査事業	16
11 無電柱化事業	17
12 祭礼・民俗芸能等の記録保存事業	18
13 指定無形の民俗文化財保存事業	19
14 山車等の保存・修理補助事業	20
15 渡良瀬遊水地環境保全事業	21
16 農業体験(グリーンツーリズム)事業	22
17 6次産業化推進事業	23
18 情報発信事業	24
19 文化財データベース整備・発信事業	25
20 文化財マップ作成事業	26
21 案内板等整備事業	27
22 歴史・文化に関する解説ボランティア人材育成事業	28
23 嘉右衛門町伝建地区及び周辺整備事業	29
24 ポケットパーク整備事業	30
25 駐車場整備事業	31
26 旧日光例幣使街道交通体系検討調査事業	32
27 歴史文化資産ネットワーク形成事業	33
28 公共サイン整備事業	34
29 歴史的観光資源高質化支援事業	35
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の調査、指定、保存管理について	36
2 文化財の修理、周辺環境整備、防災に関する事業について	37
3 文化財に関する普及・啓発、防災訓練、団体支援について	38
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 栃木市の歴史的風致に関する報道	39
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 観光客入込数の推移	40

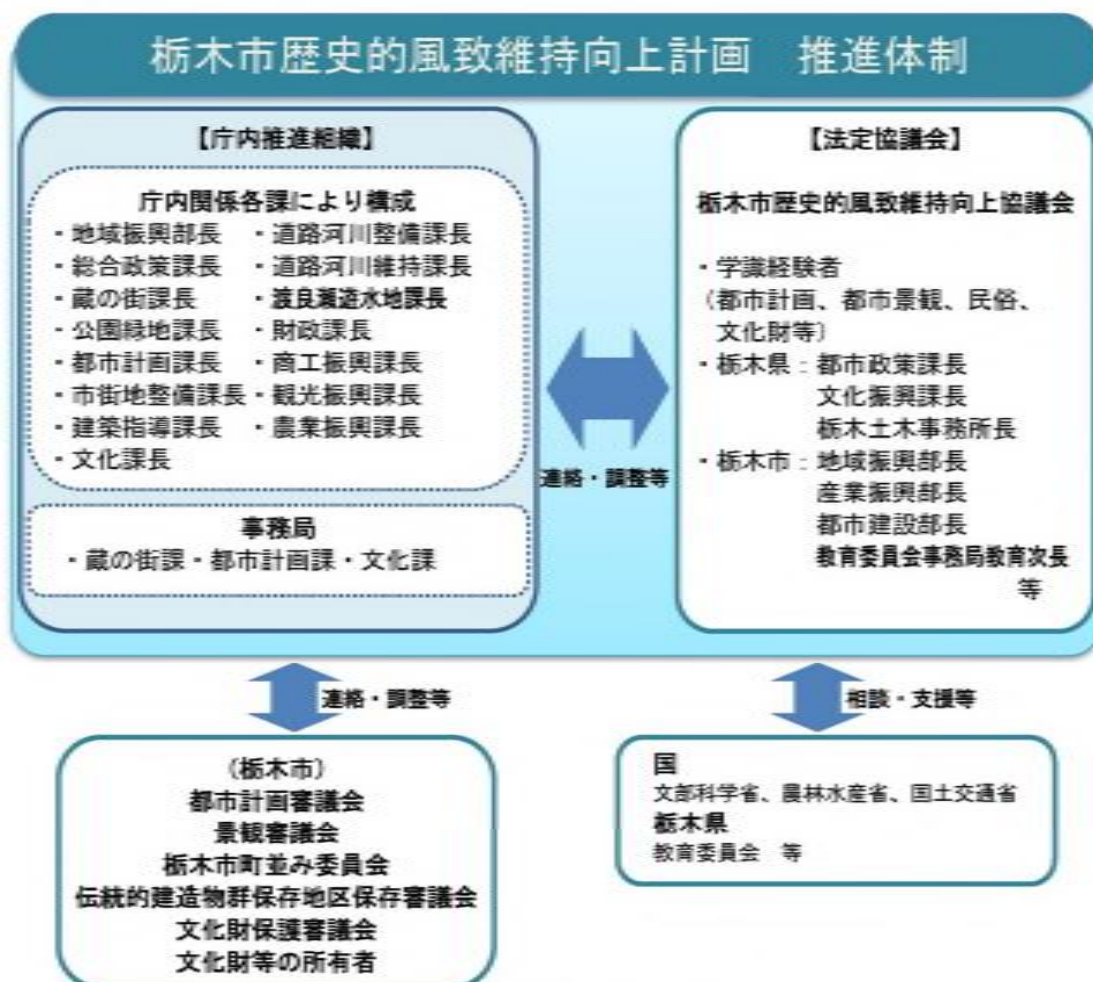
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	41
-------------------------	----

評価軸①-1
組織体制

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
歴史的風致維持向上計画の実施体制		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	蔵の街課と都市計画課、文化課を事務局とした庁内推進組織を設置するとともに、「栃木市歴史的風致維持向上協議会」において、計画の推進や変更等の連絡・調整・協議等を行い、事業の推進を図る。 また、必要に応じて、都市計画や景観、文化財保護等に関する審議会、文化財や歴史的建造物の所有者等との連絡調整を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
栃木市歴史的風致維持向上協議会を令和7年1月30日に開催した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○計画の推進体制



○協議会等の開催状況

①栃木市歴史的風致維持向上協議会

令和6年度進捗評価管理シートに関する意見照会

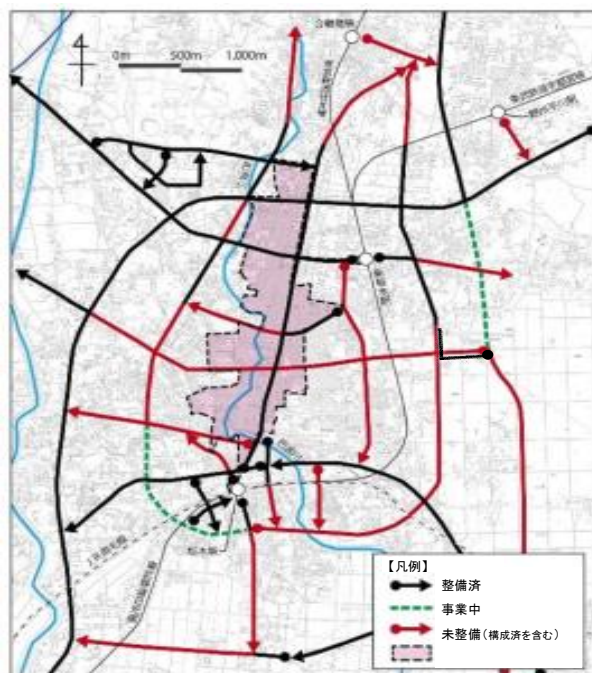
令和7年1月30日(木)

評価軸②-1

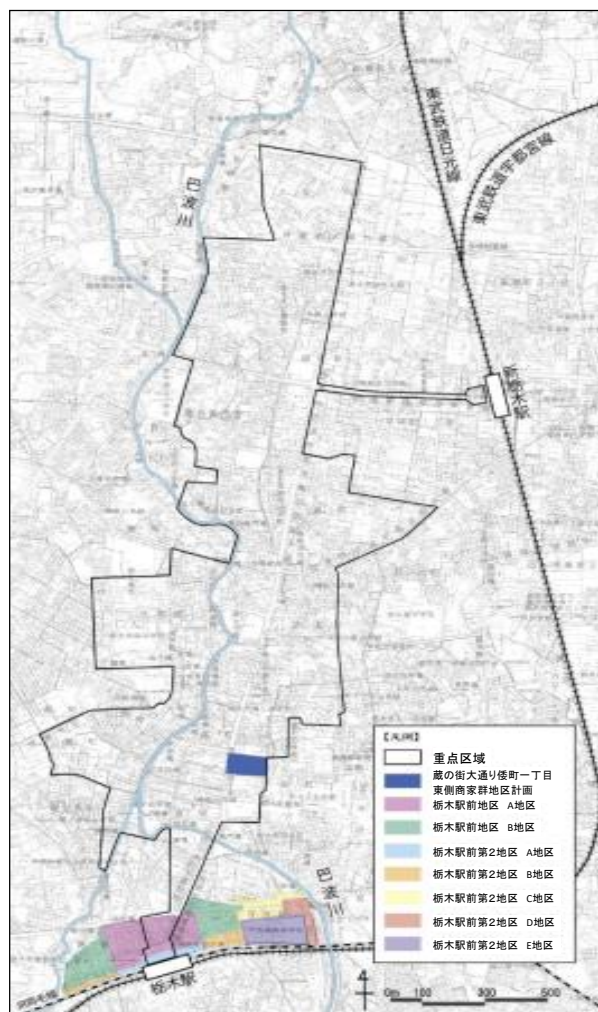
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
都市計画法との連携			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容 栃木市は、市域全体が都市計画区域となっており、重点区域の2区域は、「旧日光例幣使街道及び巴波川周辺区域」が市街化区域、「村檜神社区域」が市街化調整区域である。 区域区分及び用途地域の適切な土地利用の規制誘導により周辺環境との調和に努め、特に価値が高いと判断された建造物群で、保存措置が必要な場合は伝統的建造物群保存地区制度の活用を検討する。 また、地区の特性に応じた、計画的できめの細かいルールを定める制度を活用して、周辺に見られる歴史的風致との調和に努め、良好な市街地環境の形成を図る。 歴史的な町並みが残る栃木地域の中心市街地において、都市計画道路の検証・見直しを図る。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的な町並みが残る栃木地域の中心市街地における建造物群の今後の保存・活用の方法について、伝統的建造物群保存地区制度の活用や同制度活用に伴う課題(都市計画道路の見直し等)の有無等、庁内関係課との検討を行った。 また、3か所の地区計画に、各地区の特性に応じた制限を定め、将来にわたって周辺環境と調和した快適で魅力ある歴史的景観の形成を図った。 蔵の街大通り倭町一丁目東側商家群地区計画 令和6年度:届出件数 1件(令和5年度:届出件数 0件) 栃木駅前地区計画 令和6年度:届出件数 0件(令和5年度:届出件数 0件) 栃木駅前第2地区計画 令和6年度:届出件数 0件(令和5年度:届出件数 0件)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		課題を整理し、関係各課と実現に向けて検討をしていく。	

状況を示す写真や資料等



都市計画道路の整備状況



地区計画と重点区域

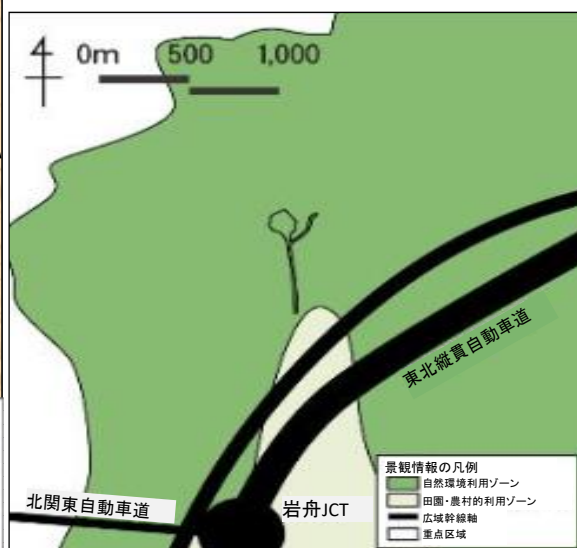
評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
景観計画との連携		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	栃木市では、平成27年に景観法に基づく栃木市景観計画を策定するとともに、あわせて栃木市景観条例を制定し、総合的な景観形成を進めている。市内各所に広がる歴史的風致について、事業展開に合わせて景観計画と連携する。また、歴史的風致維持向上計画の重点区域である「旧日光例幣使街道及び巴波川周辺区域」の一部のエリアと「村檜神社区域」については、景観計画において景観形成重点地区区域(案)として設定しているため、重点地区指定について検討を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
良好な景観を守るため、栃木市景観計画に基づき、届出のあった建築行為等の計画に対し適宜指導等を行い、規制内容に適合するよう誘導した。 令和6年度:届出件数 35件 うち、重点区域 0件(令和5年度:届出件数 50件 うち、重点区域2件) 本市の歴史的風致は、市内各所に点在していることから、景観計画の景観構造別の景観形成方針による誘導をさらに推進するため、庁内関係課と課題や取組等を共有した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		景観形成重点地区の指定に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響により地元自治会との協議が止まっていたことから、再開に向けて検討を行う。	
状況を示す写真や資料等			



景観構造図(旧日光例幣使街道及び巴波川周辺区域)

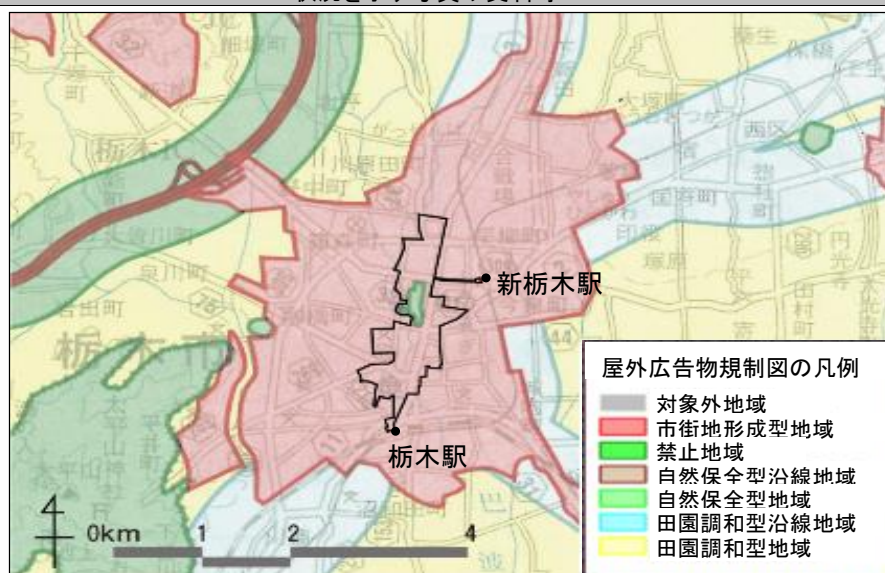


景観構造図(村檜神社区域)

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
屋外広告物について		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	栃木市における屋外広告物は、栃木県屋外広告物条例により規制されている。 重点区域は禁止地域と許可地域が混在し規制内容が異なっているため、良好な環境が阻害されることが懸念される。 今後は、市独自の屋外広告物の設置規制や適正な維持管理を行う市屋外広告物条例の制定を目指す。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「栃木県屋外広告物条例」に基づき、屋外広告物に対し規制誘導及び設置許可を行った。 令和6年度:許可件数(市全域) 249件(令和5年度:許可件数(市全域) 202件) 屋外広告物の規制誘導により、良好な景観形成が図られ、歴史的風致の維持向上に効果があった。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		今後は、市独自の屋外広告物の設置規制や適正な維持管理を行う市屋外広告物条例の制定に向けて、県内で独自条例を制定している宇都宮市・那須塩原市・日光市・那須町の条例を調査研究する。	
状況を示す写真や資料等			



屋外広告物規制図(旧日光例幣使街道及び巴波川周辺区域)



屋外広告物規制図(旧日光例幣使街道及び巴波川周辺区域)

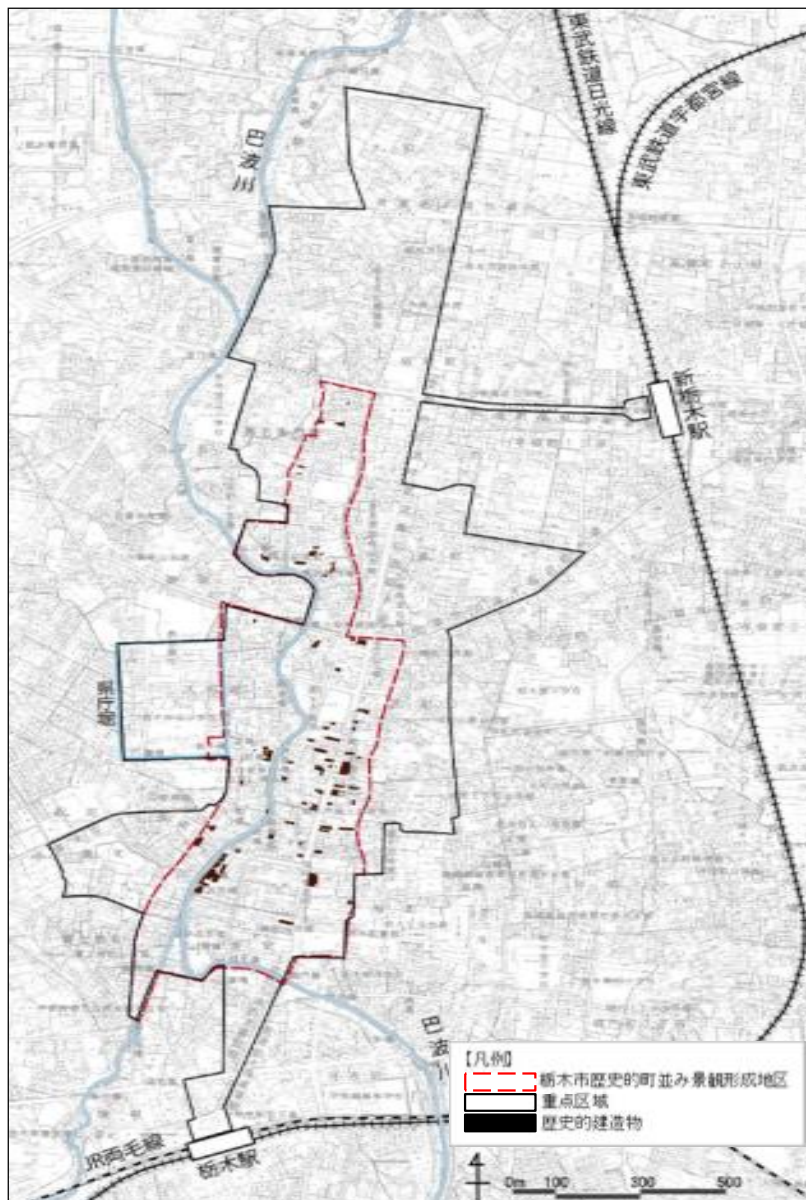
評価軸②-4

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
栃木市歴史的町並み景観形成要綱について		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	栃木市では、平成2年に栃木市歴史的町並み景観形成要綱を制定し、同要綱に基づき歴史的建造物の外観やそれらに付随する工作物の修景整備を進めている。 今後は、景観形成補助金制度の拡充について検討するとともに、町並みの連続性を阻害している建物の外観について、歴史的町並みに調和した形態、意匠となるよう整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
栃木市歴史的町並み景観形成地区内において建築行為等を行う場合、「栃木市歴史的町並み景観形成要綱(最終改正：H28.3.31)」及び「栃木市町並み修景ガイドライン」により、届出を受け、良好な歴史的町並みを形成するため、基準に沿うよう指導した。 令和6年度：届出件数 8件(令和5年度：届出件数 9件)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○栃木市歴史的町並み景観形成地区と歴史的建造物の位置



評価軸②-5

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
重要伝統的建造物群保存地区との連携			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区(伝建地区)は、保存計画に基づいた文化財としての伝統的建造物群の保存を進めながら、伝建地区周辺環境の保全・整備を一体的に行い、歴史的資源を活かしたまちづくりを推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
伝建地区内における現状変更行為等について、事前相談・協議を行い、現状変更行為の許可事務を行った。 また、修理修景事業への補助を実施することで、伝建地区の歴史的風致の維持向上を図った。 令和6年度:許可件数 23件、修理件数 5件、修景件数 1件 (令和5年度:許可件数 9件、修理件数 4件、修景件数 0件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
許可・修理修景実施状況 凡例 伝統的建造物 伝統的建造物 以外 嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区 9.6㍔			

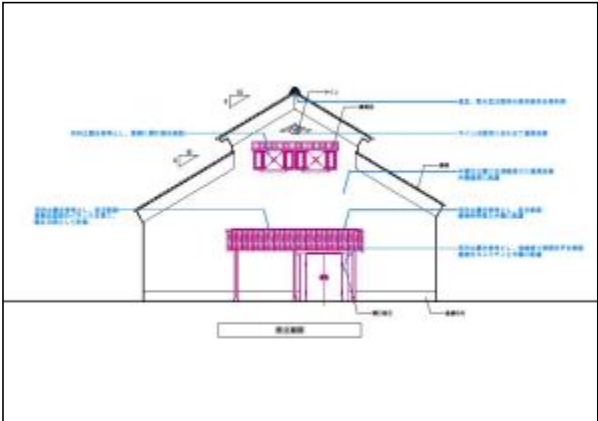
評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
歴史的風致形成建造物修理・修景事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	地域の歴史的風致を形成しており、歴史的風致の維持及び向上のため、その保全を図る必要が認められる建造物を歴史的風致形成建造物として指定する。また、歴史的風致形成建造物に指定した建造物の外観の保全に係る修理・修景に対して支援する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致形成建造物 令和6年度:指定件数 0件(R元年～R6年指定件数 27件 うち市所有 20件、民間所有 7件) 令和6年度:補助金交付件数 1件(令和5年度:補助金交付件数 0件) 令和6年度:修理工事 2件(令和5年度:修理工事 3件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
・横山郷土館   修理前   修理後			
・旧関根邸  補修箇所 修理前  修理後			
・櫻井肥料店  修理前  修理後			

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
嘉右衛門町伝建地区拠点施設整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成30年度～令和10年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金		
計画に記載している内容	味噌工場跡地の敷地内に数多く残る伝統的建造物の保存に努めるとともに、周辺の歴史的建造物と一体となった町並みの整備や人と文化の交流を目的とした活用を目指し、観光・まちづくり・防災の拠点的施設として整備する。(伝統的建造物の修理・景観阻害建築物の撤去解体・煙突や窯の整備・中庭の整備等)		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和5年度に味噌工場跡地の敷地内の伝統的建造物以外の危険建築物の解体・安全対策工事が完了した。 令和6年度は、敷地内に残る伝統的建造物3棟(建-嘉68、嘉66、嘉67)の修理及び広場整備に係る検討を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		修理費用の高騰、及び職人不足等による工事期間の長期化が懸念される。 また、建物が劣化の進行により、建物の修理計画を都度精査する必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
建-嘉68基本計画 【建-嘉68現況写真】		【完成予想図】	
			
建-嘉66, 67基本計画 【建-嘉66, 67現況写真】		【完成予想図】	
左: 嘉66 右: 嘉67 			

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度			
			現在の状況			
伝統的建造物公開活用事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手			
事業期間	令和元年度～令和10年度					
支援事業名	市単独事業					
計画に記載している内容	嘉右衛門町伝建地区の歴史的な価値について理解を深めるため、当地区で最も古い(天保5年、1835年)見世蔵、土蔵群(伝統的建造物)及び土地の取得を目指し、活用を図る。					
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で						
市が借用している「大貫邸」について、所有者より親族に譲渡したい旨の申出があったことから、所有者との協議を行った。協議の結果、令和6年10月31日付で所有者に建物及び土地を返却した。現在は、所有者の親族において、伝統的建造物としての修理等を含め、飲食店などとして活用するための準備を進めている。						
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)					
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない						
状況を示す写真や資料等						

○大貫邸



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
嘉右衛門町伝建地区修理等事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成24年度～令和10年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金		
計画に記載している内容	嘉右衛門町伝建地区保存計画で特定されている伝統的建造物の修理及び伝統的建造物以外の建築物等の修景を実施する所有者に対し、修理・修景に係る経費の補助を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
伝統的建造物の修理・修景工事に対し補助金交付を行った。 令和6年度:修理補助金交付 5件(令和5年度:補助金交付 4件) 修景補助金交付 1件(令和5年度:補助金交付 0件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
【岡田家土蔵(建-嘉20)】   R9完了予定 修景【旧うをよし】   修景前 R6.6完成			

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
		現在の状況

伝統的技術継承事業

☐実施済
☒実施中
☐未着手

事業期間 平成25年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的町並みの保全・活用に必要な歴史的建造物の伝統的技術の継承事業を促進する団体等の支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

専門者及び市職員と勉強会(蔵まちPP未来志向フォーラム)を5回(予定)開催した。
 ・第7回に令和7年4月からの建築基準法改正に向けた、情報交換を実施した。
 ・第9回では建築基準法が街の中でどのように関係しているかなどの説明を実施した。
 ・第10回では伝建地区内の修理や修景の際、現行法での対応が厳しいことから緩和条例について説明を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

ONPO法人とちぎ蔵の街職人塾と市職員による勉強会(蔵まちPP未来志向フォーラム)の開催

回数	開催日	主なテーマ
第7回	令和6年5月10日	令和6年度の内容等について フリートーク形式にての話し合い
第8回	令和6年7月16日	嘉右衛門町伝建地区拠点施設整備に向けて
第9回	令和6年10月11日	街中ウォーク
第10回	令和6年12月18日	建築基準法第85条の3に基づく緩和条例について
第11回	令和7年3月5日	調査と修理を通じての気づき・発見・提言



第9回 街中ウォーク
令和6年10月11日



第10回 建築基準法第85条の3に基づく緩和条例について
令和6年12月18日

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
嘉右衛門町伝建地区防災施設等整備事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	令和4年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	嘉右衛門町伝建地区防災計画に基づき、保存地区内に無線連動式住宅用火災警報器を設置し、火災を早期発見するシステムを導入する所有者に対し、設置に係る経費の助成を行う。また、火災に対し初期消火を行える環境を整えるため、保存地区内に住民でも使用可能な消火設備等を整備する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
地区内における住宅用火災警報器導入の必要性等に関する普及啓発活動として、「伝建かわら版」に特集記事を掲載し、地区内の全戸に配布した。 例年、文化財防火デーに合わせて開催する「伝建地区総合防災訓練」において、地域住民とともに、可搬ポンプ及び水消火器による初期消火訓練や通報訓練等の実施を予定していたが、荒天(雪)のため中止となった。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

○伝建かわら版(第25号)
令和7年3月発行



発行：令和7年3月

でんけん交流会を開催しました

今回で12回目です。でんけん交流会では、「嘉右衛門町伝建地区」をテーマに開催しました。交流会は主に伝建地区内に在住の方に参加いただき、改めて伝建地区の規制内容、補助制度の内容等をご説明するとともに、修理・修繕事例を紹介させていただきました。



工事の予定はありませんか？

伝建地区の町並みは、歴史的な建築物だけでなく、地区全体でつくられています。そのため、伝建地区の町並みを今後保存していくために、すべての建築物・工作物などの現状の調査(外観の調査など)を行う場合は、事前に許可が必要となります。

【許可が必要な主なもの】

- ・修理を行う場合(外観の塗り替えなども対象)
- ・新築、増築、改築する場合
- ・取り壊す場合 など

※許可の対象は、建物・工作物のほか、看板やエアコン室外機の設置なども含まれます。

※外観に変化が生じる場合は許可が必要となりますので、ご確認ください。

※内容によって、許可になるまでに時間を要する場合がありますので、業者の方に確認し、次の段階まで早めに相談ください。

今年の伝建地区総合防災訓練は中止になりました

市では、法隆寺会館が焼損した日である「文化財防火デー(1月26日)」に合わせ、平成30年1月より伝建地区総合防災訓練を実施しています。今年も令和7年2月2日(日)の開催を予定していましたが、荒天(雪)のため中止になりました。次回の訓練は来年度以降に開催予定です。

火災に気をつけましょう

住宅火災で多くの人がけがや命を失っています。火災による死者の大半の方は「逃げ遅れ」によるものとされています。火災の早期発見、初期消火が重要です。

防火対策として、平成21年に住宅用火災警報器の設置が義務付けられましたが、設備と合わせて日頃から火災予防を心がけることが重要です。

【チェックポイント】

- ☐ 煙たばこはしない。
- ☐ ストープの横わりで燃やしやすいものを置かない。
- ☐ コンセントのほこりを清掃し、火の元を断絶しない。
- ☐ ガスコンロ使用中、火のそばを離れない。



地域おこし協力隊活動報告会を開催します

栃木市内で活動している2人の地域おこし協力隊員、園部谷理恵・村山理恵は、それぞれの拠点で伝統的建造物の解体や改修活動に取り組んでいます。今回、2人の活動の報告会を開催いたしますので、ぜひお越しください。

日 時：令和7年3月16日(日) 10:00～11:30
場 所：嘉右衛門町伝建地区拠点施設 交流館(入場無料・予約不要)



【園部谷 理恵 氏】
・活動テーマ
寺尾地区の伝統的建造物を生かした地域おこしに資する活動



【村山 大樹 氏】
・活動テーマ
空き家・空き家の活用を通じた地域復興

【発行・問合せ】 栃木市 地域振興課 鶴の町 里田健雄
TEL: 0282-21-2571 FAX: 0282-21-2685
〒328-8686 栃木市力町9-25 E-mail: danken@city.tochigi.lg.jp

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
			現在の状況
村檜神社修理整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和2年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重要文化財村檜神社本殿等の建造物の修理や修景、また村檜神社境内の参道や記念物(動物・植物・地質・鉱物)・社叢の修景や整備を行うとともに、防火、防犯、防災設備や解説板等の設置を行うことにより周辺環境の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
国重要文化財(建造物)となっている本殿について、国土館大学理工学部の協力により、耐震予備診断による耐震性能評価を行った。また、修理履歴や周辺環境との関わりについて、神社所蔵資料の調査により確認調査を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	調査結果を踏まえ、今後の整備等について協議、検討を進める。		
状況を示す写真や資料等			



重要文化財村檜神社本殿

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度						
		現在の状況							
景観重要建造物保全事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手						
事業期間	平成28年度～令和10年度								
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)								
計画に記載している内容	景観的に価値のある建造物を景観重要建造物として指定する。また、景観重要建造物に指定した建造物の保全に係る経費の一部について補助する。								
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で									
「栃木市景観重要建造物等保全補助金交付要綱」を活用し、景観重要建造物の保全に係る経費の一部について補助を行うことで、建造物の維持管理が適正に行われることにより、良好な景観が保全され、商家町栃木にみる歴史的風致の維持向上に寄与する。 令和6年度:補助金交付 0件 (令和5年度:補助金交付 1件 塚田歴史伝説館旧文庫)									
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)								
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後、景観重要建造物の新たな指定に向け、調査検討を進める。								
状況を示す写真や資料等									
景観重要建造物保全事業予定表 ○塚田歴史伝説館									
● = 保全事業実施予定									
令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
旧荷蔵補助金 500万円				旧文庫蔵補助金 500万円			●		●

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
歴史的町並みに関する修景助成事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成2年度～令和10年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	歴史的町並み景観形成地区において、景観形成補助金制度を拡充し、歴史的建造物の外観の修景整備を行うとともに、町並みの連続性を阻害している建物等の外観について、歴史的町並みに調和するよう修景を促進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「栃木市歴史的町並み景観形成補助金交付要綱」を活用し、歴史的建造物等の修景に対して、費用の一部を補助することで、栃木らしい歴史的町並みの景観形成に寄与する。 令和6年度:補助金交付 0件(令和5年度:補助金交付 0件)			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後、町並みの連続性を阻害している建物等の外観について、修景整備が進むよう景観形成補助制度の拡充を検討する。		
状況を示す写真や資料等			
○「栃木市歴史的町並み景観形成補助金交付要綱」を活用した修景整備 令和6年度:補助金交付 0件 令和7年度以降の修景についての相談を受けた。			

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
景観形成重点地区指定に関する調査事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的町並み景観形成地区において、歴史的町並みの更なる充実を図り、景観まちづくりを推進するため、本地区を基本に栃木市景観条例に基づく景観形成重点地区の指定に向けた調査(景観の特徴等)を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成2年に指定した栃木市歴史的町並み景観形成地区の区域を、栃木市景観計画に基づく栃木地域歴史的町並み景観形成重点地区として指定するため、令和元年度に地元説明会等を行うなど地元調整を進めてきたところであるが、令和元年東日本台風での被災や新型コロナウイルス感染症対策により、重点地区指定に向けた地元調整が中断していた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	地元調整を再開するなど、重点地区指定に向けた景観形成の方針の検討を進める。		
状況を示す写真や資料等			
栃木地域歴史的町並み景観形成重点地区 区域(案)			

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
			現在の状況
無電柱化事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和3年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重点区域において、歴史的な町並みに調和した空間の整備を図るため、無電柱化を実施し、景観形成の充実を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
庁内関係課と事例などの情報を共有し、今後の方向性等について検討を行っている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	電線管理者と協議したところ、一般的な地中化の手法では整備が困難な路線であるが、関係部署と協議し、実現に向けた検討を進める。		
状況を示す写真や資料等			

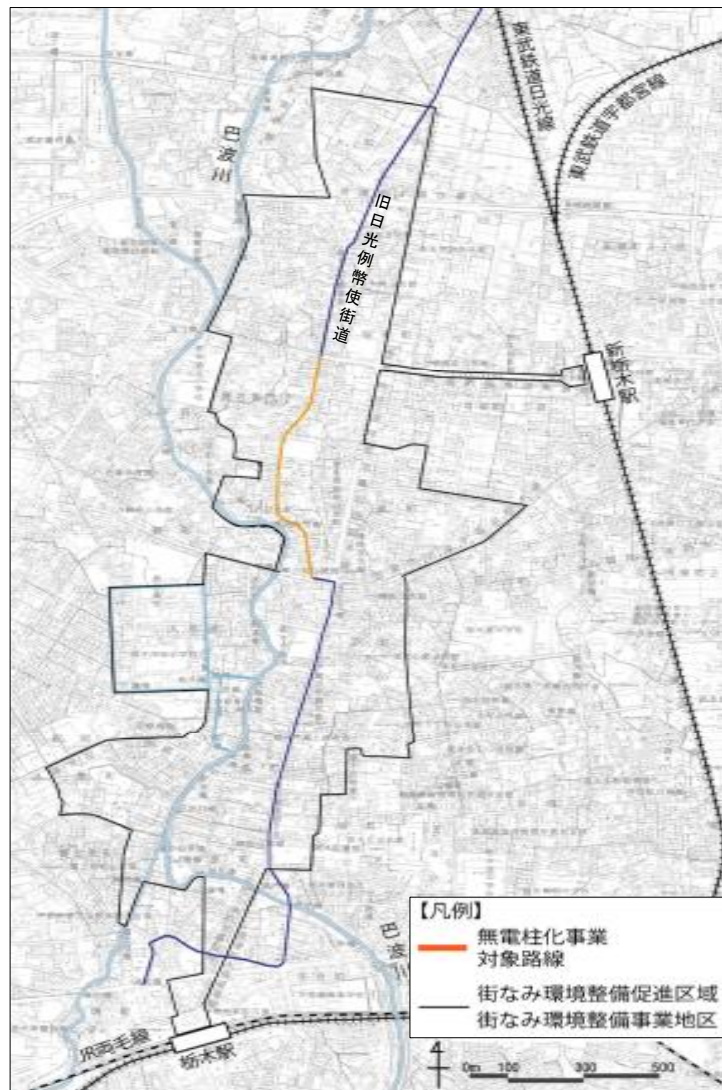


図 無電柱化事業対象路線

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

○アンケート集計結果

〈文化財種類別の所有等する文化財の保存や活用など全般に関する課題〉

- | | |
|----------------------------|-----------------------------------|
| ● 弊社にない。 | ● 人事が不足し、日本の総務管理で事足りない。 |
| ● 総務管理や経理にかかる費用負担が大きい。 | ● 本社に依頼して、経理代行のサービスがあるが、対応がすぐれない。 |
| ● 税務知識が浅い。 | ● 税・労・社労士に依頼する。 |
| ● 税・労・社労士等の負担が大き。(金額も高くなる) | ● 税務上の準備金や税金の滞りなどに関するリスクがある。 |
| ● 専任の経理担当の希望への対応ができていない。 | ● 経理代行のサービスに不満、疑問がある。(やり方がわからない) |
| ● 経理担当の業務内容が不明確、不明。 | ● 不明点。 |

無形民俗文化財調査票																							
無形民俗文化財の名称	おのり作り																						
主催団体名																							
代表者名																							
住所																							
連絡先 (TEL)																							
Eメールアドレス																							
本調査は、県内で顕著な国、県、市町地区の無形民俗文化財の保護振興を目的に、無形民俗文化財を調査し、今後の保護の参考にするとともに実施するものです。 お楽しみなどの趣向はありますが、調査に協力いただくようお願いいたします。 参加で工賃1,000円の状況について、御記入ください。																							
【Q1】 開催時期	1月10日(月) 午前9時30分～午後12時30分																						
【Q1-2】 開催の自然状況について教えてください。																							
①お天候 ②お気温 ③お風																							
【Q1-3】 上記Q1で「第一種指定文化財(国指定)」と指定した方についてお答えください。「第一種指定」「第二種指定」となっている方について教えてください。																							
【Q2-1】 「第一種指定」「第二種指定」の欄について教えてください。(複数回答可)																							
①指定の趣向について、参加人数が限定されています。																							
②お天候等いろいろな点、開催できません。																							
③お楽しみなどで参加費が異なります。参加人数が限定されています。																							
④材料・仕様の伝承ができません。開催できません。																							
⑤参加人数																							
⑥その他																							
【Q2-2】 参加人数の制限について教えてください。																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>2012年度</th> <th>2013</th> <th>2014</th> <th>2015</th> <th>2016</th> <th>2017</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>	2012年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
2012年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022													
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11													
【Q2-3】 参加人数は固定していますか。																							
①固定です。	お楽しみなどの趣向はありますが、調査に協力いただくようお願いいたします。																						
【Q2-4】 参加人数の増減について、状況をお答えください。																							
①増加	②減少																						
③増加 ④減少																							
⑤増加 ⑥減少																							

指定無形文化財実態調査

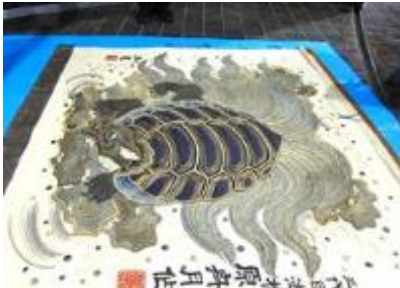
評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度			
			現在の状況			
指定無形の民俗文化財保存事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手			
事業期間	令和元年度～令和10年度					
支援事業名	市単独事業					
計画に記載している内容	市指定無形の民俗文化財の保存や伝承活動の促進のために、保存団体等に対し、伝承活動に要する経費や保存に必要な専門用具、楽器、衣装等の修理又は新調に要する経費の助成を行う。					
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で						
栃木市指定無形民俗文化財保存事業費補助金交付要綱に基づき、市指定無形民俗文化財保持団体に対し、伝承活動に要する経費の一部を補助した。						
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)					
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない						
状況を示す写真や資料等						
○栃木市指定無形民俗文化財伝承補助金 交付先 ・下野国庁跡・地区文化財整備委員会 ・宮野辺神社 ・新神田囃子保存会 ・升塚獅子舞保存会 ・鷺宮太々神楽保存会						
						
新神田囃子保存会		大神神社御鉾祭 (下野国庁跡・地区文化財整備委員会)				
						
升塚獅子舞保存会		鷺宮太々神楽保存会				

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
山車等の保存・修理補助事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	栃木の山車祭りの山車等の保存や伝承活動の促進のために、保存会等に対し、保存会の運営に要する経費や山車の修理に係る経費の助成を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
栃木市文化活動推進補助金交付要綱に基づき、保存会の運営に要する経費の一部を補助した。(1団体) また、栃木市指定有形民俗文化財修理費補助金交付要綱に基づき、山車修繕に要する経費の一部を1団体に補助するとともに、県指定である山車修繕に関する指導及び支援業務を行う。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	一回の修理費が大きいため、今後の財源確保の手段について検討する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
○栃木市文化財山車保存会補助金 交付先 ・文化財山車保存会			
○栃木県指定有形文化財山車修理指導 所有者からの修理相談に対し、令和7年1月29日に万町三丁目の山車及び泉町の山車の修理方針について文化財保護審議会委員の現地指導等を行い、修理内容を検討した。			
			
修理候補(万町三丁目)		修理候補(泉町)	

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
渡良瀬遊水地環境保全事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	渡良瀬遊水地の環境保全として、渡良瀬遊水地の現状を把握するための生態系調査や希少植物保全のための外来植物除去活動、絶滅危惧種を復活させるための環境学習池の管理を行う。また、ヨシ原保全のためクリーン作戦やヨシ焼きを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年4月13日に渡良瀬遊水地クリーン作戦を実施(参加者400人、一般ゴミ等13t集積)。 5月11日に絶滅危惧種生息地で外来植物の除去作業及び植物観察会を実施(参加者130人、セイカアワダチソウ1t除草)。 6月26日に絶滅危惧種ノジトラノオの生息地の保全作業を実施(参加者14人)。 9月7日に絶滅危惧種生息地で外来植物の除去作業及び植物観察会を実施(参加者110人、セイカアワダチソウ0.85t除草)。 11月23日に湿地再生池(第2調節池)で外来植物の除去作業を実施(参加者120人、セイカアワダチソウ460kg除草)。 令和7年2月25日にヨシ焼き前クリーン作戦を実施(参加者91人)。 3月1日に渡良瀬遊水地全域でヨシ焼きを実施(見学者2,700人)。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 渡良瀬遊水地クリーン作戦の様子 (令和6年4月13日)		 外来植物除去活動の様子 (令和6年5月11日)	
 バトラノオ保全作業の様子 (令和6年6月26日)		 外来植物除去活動の様子 (令和6年11月23日)	
 ヨシ焼き前クリーン作戦の様子 (令和7年2月25日)		 ヨシ焼きの様子 (令和7年3月1日)	

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
農業体験(グリーンツーリズム)事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	太平山の南山麓に広がるぶどう棚や観光ぶどう園等の農村風景のPRを図り、ぶどうの収穫等の農業体験を行う。 また、ぶどう栽培や農村生活に興味がある、ぶどう生産を学びたい人と農村とを結び支援を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
ジャガイモ収穫体験(6月:参加者40名)、ぶどう及びワイン用ぶどう収穫体験(9月:参加者52名)、オーナー制度によるサツマイモ掘り体験(10月:参加者54名)、幼稚園児によるサツマイモ掘り体験(10月:参加者110名)のほか、11月には大根・キウイフルーツ収穫体験(参加者52名)を実施した。新型コロナウイルス感染症対策以前に実施していたぶどうまつりの開催、ぶどう狩りキャンペーン等は引き続き開催見合わせとなった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	農業体験については受け入れできる農家や組織の確保が課題である。また、新規就農希望者の土地や施設等の経営基盤整備にも課題があるため、今後の取組みについて地元農家の意見を伺いながら引き続き支援方法を検討していく。		
状況を示す写真や資料等			
			

ワイン用ぶどう収穫体験の様子

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度			
			現在の状況			
6次産業化推進事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手			
事業期間	平成29年度～令和8年度					
支援事業名	市単独事業					
計画に記載している内容	ぶどうを主力とする果樹生産の振興を図るとともに、消費者、来訪者の趣向を捉え、ワインやジュース、ジャム等の加工や販売・新商品開発等の支援を図る。					
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で						
現在、地域で生産しているぶどうを始めとする果実等を使用し、ジュース、ジャム、ワイン等の加工品を各団体が中心に製造・販売を行っている。新型コロナウイルス感染症対策により積極的なPR活動はできなかったが、今年度はイベントへの参加等を通じてPR活動を行った。NPO団体においては、下都賀地域食材提案会に出展しPRを図った。販路拡大につながることを期待するとともに、県等の関係者と情報を共有しながら、他産業との連携や情報発信等の支援にも努めていく。						
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)					
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	新商品開発を行う事業者の掘り起こし及び6次産業に関する情報発信の方法を検討し、今後も、県が設置する栃木6次産業化サポートセンター等の関係組織と密な連携が必要である。					
状況を示す写真や資料等						

○現在生産されている加工品の例



ワイン



手作りジャム・ぶどうジュース



第3回下都賀地域食材提案会

○イベント参加実績

3月	桜まつり
8月	みつわキッチンカー通りイベント
9月	かかしとマルシェイベント
10月	第3回下都賀地域食材提案会
10月	みつわレザー市イベント
11月	アグリフェスタ

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
情報発信事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	嘉右衛門町伝建地区の歴史的な価値や、伝建地区や伝統的建造物等を楽しめる魅力や情報を発信するなど、様々な情報発信ツールを活用したPRを展開する。栃木市の認知度を高め、魅力を知ってもらうため、メディアや交通事業者、旅行業者等へ、時期にあった情報発信を行い、栃木市への誘客に努める。また、栃木市を訪れる外国人観光客の誘客推進を図るため、商談会や県主催の海外プロモーションイベントに参加し、積極的な誘客活動を展開する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
嘉右衛門町伝建地区拠点施設ガイダンスセンター、栃木市観光交流館「蔵なび」、栃木市観光協会等において、パンフレット配布等により嘉右衛門町伝建地区の紹介や観光案内等を行った。 NPO法人嘉右衛門町伝建地区まちづくり協議会において、ホームページ「kaemos」、Instagram、facebook等のツールを活用した情報発信を行った。 令和6年9月開催の「宇都宮大学コラボレーションフェア」に出展し、嘉右衛門町伝建地区等のPRを行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○宇都宮大学コラボレーションフェア(会場:マロニエプラザ大展示場(宇都宮市))			
			

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
文化財データベース整備・発信事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和2年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	国県市指定の文化財の修理履歴や現状を総合的に把握するため、資料情報をデジタル化した管理データベースを構築する。データベースのうち、各々の文化財の歴史的価値や意義について、インターネット上で公開し、活用を行う。また、公開端末は主要な資料館に設置し、市全域の歴史や文化、歴史的風致のガイダンスを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
栃木市立美術館・文学館収蔵品管理システムのデータベース登録作業を進めてきたが、組織の変更に伴い新たに導入内容を検討する必要がある。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		栃木県文化資源デジタル化事業が開始され、参加している。国県指定文化財等の公開活用の方法等について再検討する。	
状況を示す写真や資料等			

〇とちぎデジタルミュージアム SHUGYOKU(珠玉)ホームページより



下野七廻り鏡塚古墳出土品



下野七廻り鏡塚古墳出土品

21件の関連画像があります。



項目	内容
文化遺産区分	考古資料 / 考古資料
文化財区分	国 指定 有形文化財 (考古・歴史資料)
文化財名称	下野七廻り鏡塚古墳出土品
文化財名称よみ	しもつねなまわりかがみづかこふんしやつどひん
指定年月日	1986年06月06日
所在地	栃木市大平町西山田
市町等	栃木市
所有者/管理者	栃木市
公開状況	公開 (有料) / おおひら歴史民俗資料館内に展示 (月曜休館)
アクセス方法	2号国道路大平下駅からの約2km、車で約3分・東武日光線新大平下駅から約3.5km、車で約6分
概要	昭和44年4月13日、宅地造成工事によって発見された下野七廻り鏡塚古墳は、旧大平町及び県教育委員会等の関係機関によって発掘調査が数回にわたって実施され、その結果、古墳部と推定された箇所より我が国最大といわれる舟形木棺や組合せ木棺が発見された。 古墳は高さ5m程度、直径が約30mの円形で、巾5～7mの周溝がめぐっていた。木棺は5m以上の深さにある位置から湧水のある青色粘土層に盛られた状態で発見された。 木棺は初めて全貌が明らかになった例として貴重である。組合せ木棺はヒノキ材であった。 副葬品についても、刀身・柄・三輪玉から成る大刀、黒漆塗の柄・石製の所存する矛、鹿(の)の角の形など漆の彫刻を受けて、木製の部や銅の皮部など、毛細管状など、これまでの古墳出土品ではその細部を把握できなかった物品も多く遺存している。
画像二次利用条件	著作権あり



マニフェスト

高橋謙雄(HP)

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
文化財マップ作成事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和2年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	国県市指定の文化財マップを作成し、主要施設に配付することで、市全域の歴史や文化、歴史的風致の情報を発信を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
個別の文化財(西方城跡)の案内パンフレットを作成した(1件)。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	令和8年度に全域対象の文化財マップ作成を実施するため、その準備を進める。		
状況を示す写真や資料等			

○西方城跡ガイド作成

国指定史跡となり、来訪者が増えることを踏まえ、ガイドを作成した。



評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度			
			現在の状況			
案内板等整備事業			☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手			
事業期間	令和元年度					
支援事業名	市単独事業					
計画に記載している内容	嘉右衛門町伝建地区の説明や、伝建地区及びその周辺地域の防災施設等の施設に関する適切で分かりやすい情報の提供を行う地図、また、災害時に情報伝達・共有をするための掲示板(でんけん伝言板)を設置する。また、伝建地区の南隅と北隅に位置サインを設置する。					
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で						
嘉右衛門町伝建地区拠点施設前に、案内板(でんけん伝言板)を設置した。また、伝建地区の南隅と北隅の位置サインについては、既存の位置サインを活用することとした。						
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)					
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない						
状況を示す写真や資料等						

○案内板(でんけん伝言板)



○伝建地区の南隅と北隅の位置サイン



位置サイン(南隅)



位置サイン(北隅)

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
歴史・文化に関する解説ボランティア人材育成事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市民や来訪者向けに、地域に残る歴史的資源や歴史・文化について語ることができる解説ボランティアを育成するため、講習会や現地視察等の歴史文化資産に関する解説ボランティア養成講座を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
観光ボランティア協会が、協会会員を対象とした班別研修会・全体研修会を開催したほか、栃木県郷土ボランティアの集いに参加した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	他部局、県、大学、民間事業者、近隣自治体の観光ボランティア等との連携について体制、システムづくりを検討する。		
状況を示す写真や資料等			
令和6年度前期栃木市観光ボランティア協会先進地視察研修 令和6年5月14日 8時30分～16時30分 (石切山脈、笠間稲荷神社、道の駅かさま、鳳台院、西念寺)			
令和6年度後期栃木市観光ボランティア協会先進地視察研修 令和6年11月26日 8時30分～16時30分(大谷コネクト、若竹の杜、宇都宮LRT乗車体験、カルビー清原工場)			
第29回栃木県郷土ボランティアの集い 令和6年11月27日 9時30分～15時30分 (鹿沼市民情報センター)			
			
令和6年度前期栃木市観光ボランティア協会先進地視察研修		第29回栃木県郷土ボランティアの集い	
			
		令和6年度後期栃木市観光ボランティア協会先進地視察研修	

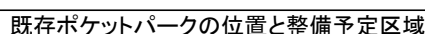
評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
嘉右衛門町伝建地区及び周辺整備事業		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手	
事業期間	令和4年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的な町並みに調和した空間の整備を図るため、歩道の整備や道路の美装化、街路灯の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		無電柱化事業と合わせて検討する。 なお、無電柱化事業においては、当該地区は既に歴史的な町並みが形成されている地域であり、同様な条件での事例が少なく整備手法の慎重な検討を引き続き行っていく。	
状況を示す写真や資料等			

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

状況を示す写真や資料等

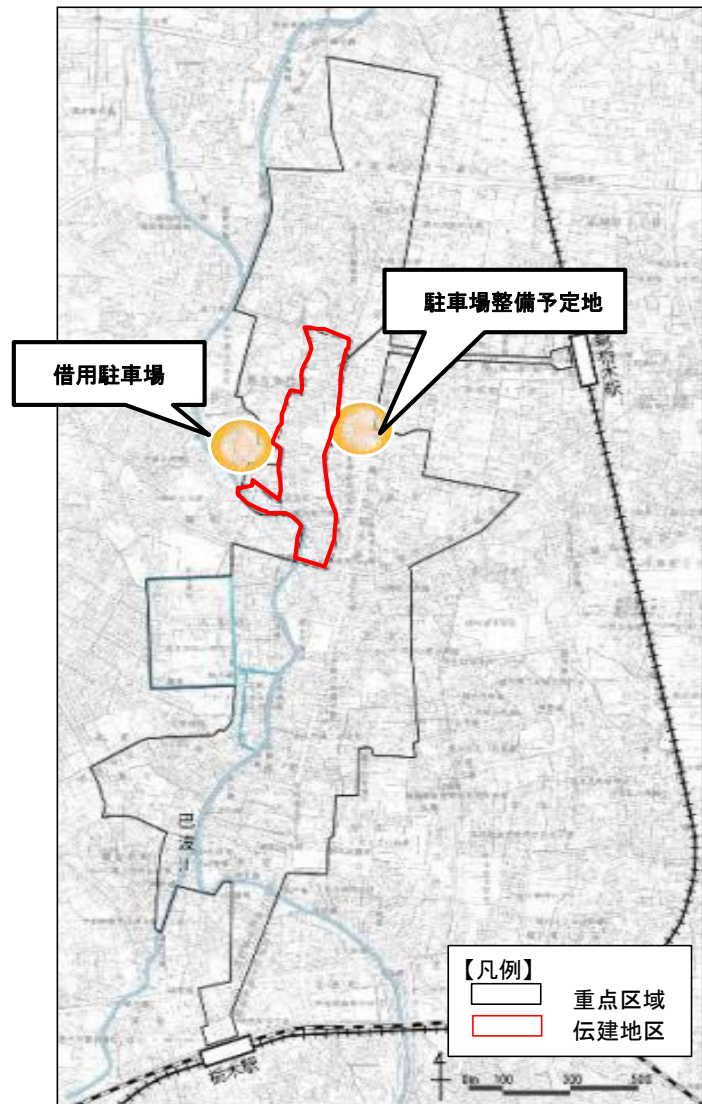


評価軸③-25

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
駐車場整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和2年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重点区域(旧日光例幣使街道及び巴波川周辺区域)における嘉右衛門町伝建地区等へのアクセス環境を向上させるため、駐車場を整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
嘉右衛門町伝建地区味噌工場跡地保存活用計画において、拠点施設の隣接地での整備を位置付けている。令和5年9月より、伝建地区に隣接した民間駐車場を借り受け、地区における駐車場を確保した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	拠点施設整備事業の進捗に合わせて検討する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			

【借用駐車場】



評価軸③-26

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
旧日光例幣使街道交通体系検討調査事業			☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手
事業期間	令和2年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	有識者と地元住民を交えて現状の交通課題と風致を考察し、より良い交通体系を検討する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	無電柱化事業や嘉右衛門町伝建地区及び周辺整備事業と合わせ検討する。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-27

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
歴史文化資産ネットワーク形成事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内各所の歴史文化資産について、地域に根差した物語づくりを行いながら、新たなモデルコースを設定するとともに、来訪者が複数の歴史文化資産を周遊できるよう広域的な自転車道路網を活用するため、レンタサイクルシステムの導入を検討する。各々の歴史文化資産への来訪者に、そこだけに留まらずに周遊してもらうため、着地情報(交通手段、施設情報等)の共有や、歴史文化資産間のネットワークを強化する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
栃木市観光資源データベース「蔵ナビ！」に、モデルルートとして、「歴史ロマン 花めぐりコース」を作成するとともに、ふれあいバスやサイクリングマップ(サイクリングコース)等の二次交通情報を掲載し、歴史文化資源に触れ合いながら、各地域を周遊してもらうための情報発信を行った。また、令和5年7月からシェアサイクルの導入を実施した。			
	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



栃木市観光資源データベース「蔵ナビ！」



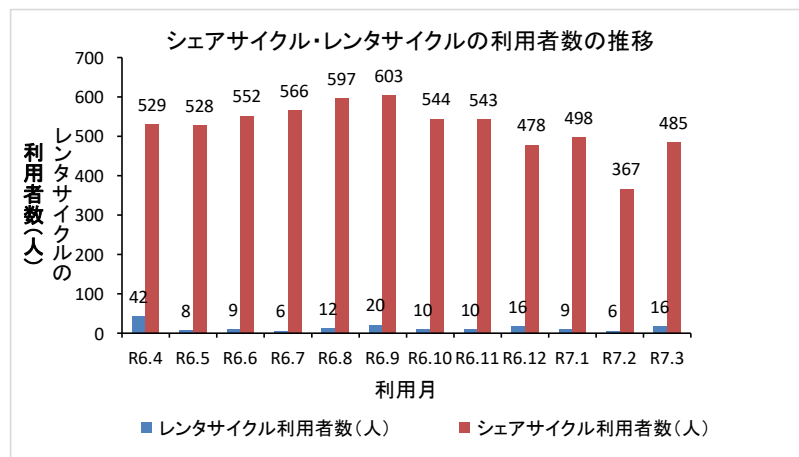
レンタサイクル



シェアサイクル



シェアサイクルのステーション設置場



評価軸③-28

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
公共サイン整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和2年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内の文化財や史跡等に誘導するサイン等について、案内機能の向上を図るために、表記方法や意匠の統一化、多言語化など、平成27年(2015)に策定した栃木市公共サインガイドラインに基づき整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
伯仲第一号古墳(市指定史跡)の案内板、説明板を設置した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	必要に応じ、随時対応する。令和6年度は、(市指定)伯仲第一号古墳の案内板、説明板を設置した。		
状況を示す写真や資料等			

○伯仲第一号古墳案内板設置



○伯仲第一号古墳説明板設置



評価軸③-29

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
			現在の状況
歴史的観光資源高質化支援事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	歴史的観光資源高質化支援事業		
計画に記載している内容	外国人観光客が増加傾向にある歴史的町並み景観形成地区において、歴史的な町並みの景観を阻害している建築物の外観を保全することにより、歴史的建造物を含めた町並みの質を向上させ、外国人観光客の満足度向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度に銀座通り商店会アーケード除去工事、令和4年度・令和5年度に伝建地区拠点施設解体工事を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	本支援事業を活用できる事業等を精査し、積極的な活用を検討する。		
状況を示す写真や資料等			

○過去の実績

R3 銀座通り商店会アーケード除去工事



除去前



除去後

R4～R5 伝建地区拠点施設解体工事



除去前



除去後

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度 現在の状況
文化財の調査、指定、保存管理について		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容
 関係法令に基づく適切な保存管理を実施し、保存活用計画の策定や、関係機関と連携した調査・研究、市指定や国登録制度等の活用等により適切な保護を行う。
 土木工事等の際の届出義務の徹底や関係機関と連携した保存・記録・調査を行う。
 文化財の保存活用の視点から観光部局との連携強化体制の充実に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市文化財保護審議会委員に対し、必要に応じて文化財調査を依頼、また、未指定文化財についての調査及び意見聴取等を行った。
 埋蔵文化財調査を随時実施した。(確認調査15回、立会調査42回)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	指定の根拠となる、現存する証拠の収集において、事務局と審議委員だけでは確認や閲覧が困難な場合があることから、引き続き研究機関との連携体制を整えていく必要がある。

状況を示す写真や資料等

○文化財調査



大中寺山門(市指定建造物)現地指導



櫻井肥料店店舗(登録有形建造物)現地指導

○埋蔵文化財調査



石原遺跡確認調査



星野遺跡確認調査

○遺跡環境調査(西方城跡)

項目	評価
第1項 調査計画	2.5/3
1.1 調査計画	2.5/3
1.1.1 調査計画の策定	2.5/3
1.1.2 調査計画の実施	2.5/3
1.1.3 調査計画の検証	2.5/3
1.1.4 調査計画の改善	2.5/3
1.1.5 調査計画の報告	2.5/3
第2項 調査実施	2.5/3
2.1 調査実施計画	2.5/3
2.1.1 調査実施計画の策定	2.5/3
2.1.2 調査実施計画の実施	2.5/3
2.1.3 調査実施計画の検証	2.5/3
2.1.4 調査実施計画の改善	2.5/3
2.1.5 調査実施計画の報告	2.5/3
第3項 調査結果	2.5/3
3.1 調査結果の整理	2.5/3
3.1.1 調査結果の整理	2.5/3
3.1.2 調査結果の分析	2.5/3
3.1.3 調査結果の報告	2.5/3
3.1.4 調査結果の活用	2.5/3
3.1.5 調査結果の保存	2.5/3
第4項 調査費用	2.5/3
4.1 調査費用の概算	2.5/3
4.1.1 調査費用の概算	2.5/3
4.1.2 調査費用の精算	2.5/3
4.1.3 調査費用の報告	2.5/3
4.1.4 調査費用の活用	2.5/3
4.1.5 調査費用の保存	2.5/3

項目	評価
第5項 調査結果の活用	2.5/3
5.1 調査結果の活用	2.5/3
5.1.1 調査結果の活用	2.5/3
5.1.2 調査結果の活用	2.5/3
5.1.3 調査結果の活用	2.5/3
5.1.4 調査結果の活用	2.5/3
5.1.5 調査結果の活用	2.5/3
第6項 調査結果の保存	2.5/3
6.1 調査結果の保存	2.5/3
6.1.1 調査結果の保存	2.5/3
6.1.2 調査結果の保存	2.5/3
6.1.3 調査結果の保存	2.5/3
6.1.4 調査結果の保存	2.5/3
6.1.5 調査結果の保存	2.5/3



評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度 現在の状況
文化財の修理、周辺環境整備、防災に関する事業について			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	文化財の価値を損なうことなく修理するため関係機関と調整し、各種補助制度を活用しながら、適切な保存のための対策を講じる。 展示施設等の見直しを行い、将来的に資料を一元管理できる施設整備を目指す。 関係法令に基づき周辺環境と調和した良好な景観の保全に努める。 防災対策の検討とともに、復旧作業に資する資料や関係機関との体制の整備を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
指定無形民俗文化財に関する用具の修繕について、所有者負担軽減のため、県・市補助金を補助した(1件)。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
〇市指定無形民俗文化財「百八灯流し」御神舟修繕工事 工事費内訳 市補助金30%、県補助金30%、所有者負担40% 工事期間 令和6年6月3日～8月6日			
			
修繕前		修繕後	
			
修繕前		修繕後	

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度 現在の状況																								
文化財に関する普及・啓発、防災訓練、団体支援について			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手																								
計画に記載している内容	文化財防火デーを活用した防災訓練等の取組みを促す。 説明板等の設置やパンフレットなどの作成・配布、講座やイベントを開催し、普及・啓発を図る。 総合的な調査研究を行うとともに、保存・活用する団体等の育成、団体間の連携強化を図る。																										
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																											
・文化財防火デー(1月26日)にあわせて、文化財(建造物)の所有者または管理者への文化財防火デー実施要項及びポスターの配布や消防署による文化財(建造物)の防火点検、伝健地区周辺での消防訓練の実施などを行う。 ・西方城跡の国指定を記念し、イベント等を開催し、市内外へ周知を図った。 ・とちぎ文化講座を開催し、本市の歴史文化等について普及・啓発を行った。 ・小中学生向け石器づくり体験教室を開催し、体験を通して本市の歴史を学ぶ機会を設けた。																											
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																											
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない																											
状況を示す写真や資料等																											
伝建地区総合防災訓練 ※令和7年2月2日予定されていたが、荒天により中止 とちぎ文化講座開催状 <table border="1"> <thead> <tr> <th>講座名</th> <th>日程</th> <th>参加者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>栃木県方言にみる食べものことば</td> <td>9月19日</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>江戸時代後期以降の栃木町と醤油製造の可能性を考える</td> <td>10月3日</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>栃木県内唯一の伝健地区を知ろう(現地見学あり)</td> <td>10月17日</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>真名子地域と八百比丘尼伝説(現地見学あり)</td> <td>10月24日</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>野州麻の生産から見る栃木の産業</td> <td>11月14日</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>蘭草(いぐさ)の生産から見る栃木の産業</td> <td>11月25日</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>195</td> </tr> </tbody> </table> ○石器づくり体験教室開催状 日時：令和6年11月16日 12人参加  ○西方城跡関連イベント 企画展：令和7年1月6日～2月2日開催 現地説明会：令和7年1月12、25日 お城EXPO：令和7年12月21、22日参加  				講座名	日程	参加者数(人)	栃木県方言にみる食べものことば	9月19日	39	江戸時代後期以降の栃木町と醤油製造の可能性を考える	10月3日	33	栃木県内唯一の伝健地区を知ろう(現地見学あり)	10月17日	30	真名子地域と八百比丘尼伝説(現地見学あり)	10月24日	33	野州麻の生産から見る栃木の産業	11月14日	31	蘭草(いぐさ)の生産から見る栃木の産業	11月25日	29	合計		195
講座名	日程	参加者数(人)																									
栃木県方言にみる食べものことば	9月19日	39																									
江戸時代後期以降の栃木町と醤油製造の可能性を考える	10月3日	33																									
栃木県内唯一の伝健地区を知ろう(現地見学あり)	10月17日	30																									
真名子地域と八百比丘尼伝説(現地見学あり)	10月24日	33																									
野州麻の生産から見る栃木の産業	11月14日	31																									
蘭草(いぐさ)の生産から見る栃木の産業	11月25日	29																									
合計		195																									

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	令和6年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
ベスコングルメ(蔵の街大通り、巴波川、出流山のウォーキング・サイクリング)	2024/4/14	TBS	
魅せます！とちブラ～とちぎブランド・ぶらり～(小江戸を歩こう～蔵の街・栃木～)	2024/5/18	とちぎテレビ	
とちぎ630(とちぎ歌麿交流館オープニングセレモニー)	2024/6/15	NHK	
出沒！アド街ック天国(小江戸＆小京都合わる街)	2024/8/10	テレビ東京	
とちぎ秋まつり6年ぶり完全復活 児童や学生も参加し協力へ 伝建地区でも山車巡行	2024/10/17	下野新聞	
栃木・巴波川 漆黒を彩る竹あかり ほのか	2024/10/31	下野新聞	
着物で蔵の街楽しもう「きものの日」10日に催し	2024/11/8	下野新聞	
市内高校生が街並み撮影 ポストカード土産品に	2024/12/12	下野新聞	
中高生も訪れる地区に 無料学習スペース開設	2025/1/17	下野新聞	
重伝建地区で民泊を	2025/1/23	下野新聞	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

栃木の歴史的風致に関する内容がテレビや新聞等で多数報道された。これらの報道を通して、歴史的風致の維持向上に関する認識が高まることが期待される。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- ☐ 計画の進捗に影響あり
☒ 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

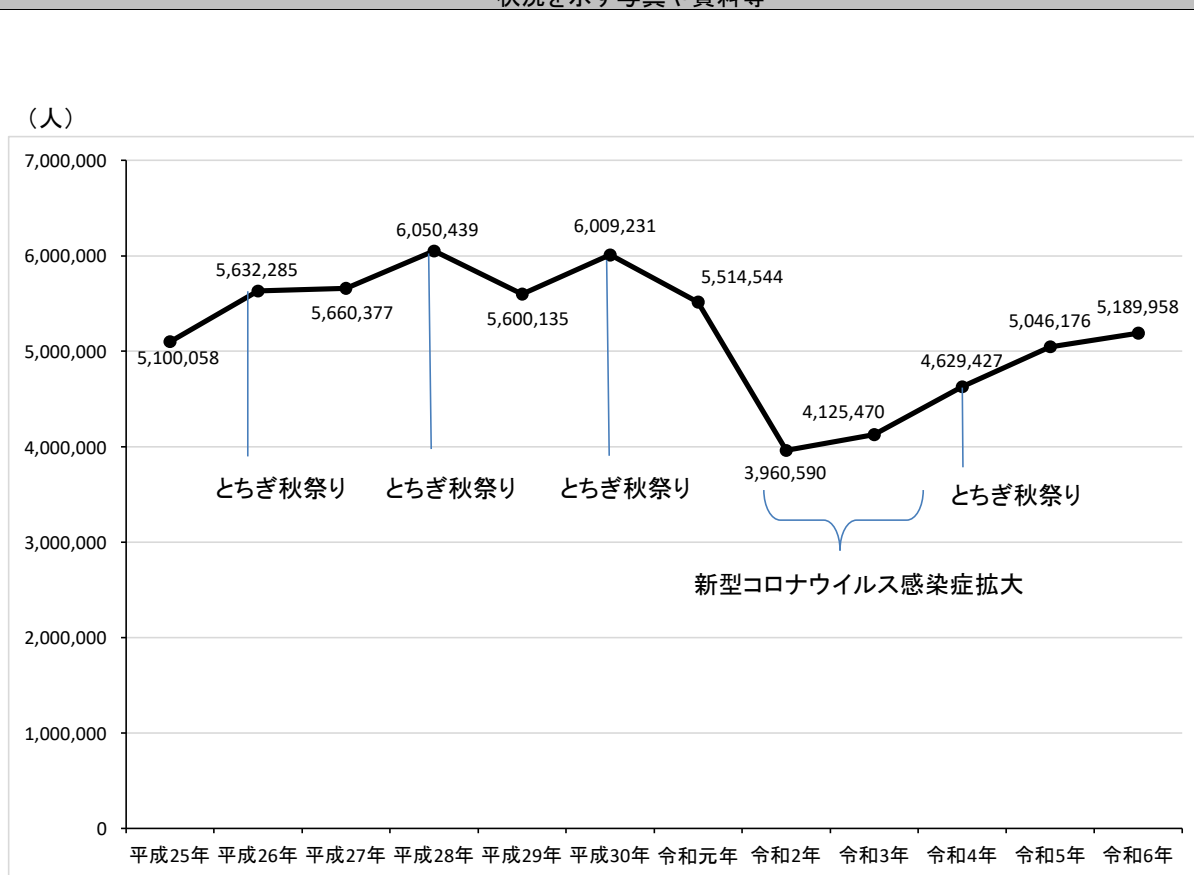
※権利の都合上掲載無し

評価軸⑥-1

その他(効果等)

		評価対象年度	令和6年度
項目			
観光客入込数の推移			
計画に記載している内容	歴史や伝統が広く市民に再認識され、郷土に対する誇りと愛着が生まれることにより、祭礼行事など、地域行事への積極的な参加につながり、地域の伝統文化が次世代へ大切に受け継がれていく。また、栃木市固有の魅力が向上することにより、観光振興等を目的とした交流人口の増加へとつながり、地域活性化が図られる。		
	定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付		
	市民協働によるおもてなしの推進や、観光資源の磨き上げなどにより、リピーターや新たな観光客の獲得に繋がったことで、観光客入込数は、平成28年に初めて6,000千人を超え、その後も横ばい傾向にあったが、令和元年東日本台風による被災、令和2年頃から感染が拡大した新型コロナウイルス感染症の影響などにより、観光客が激減した。コロナ禍から落ち着きを見せ始めた令和4年には「とちぎ秋まつり」等のイベントも再開し、回復傾向にある。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし			

状況を示す写真や資料等



栃木市観光客入込数の推移

評価対象年度	令和6年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 令和6年度第1回栃木市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時: 令和7年1月30日(木)	
①組織体制 【歴史的風致維持向上計画の実施体制】 法定協議会に県の課長、事務所長が委員に加わっているのは大変良い。 ②重点区域における良好な景観を形成する施策 【都市計画法との連携】 ・都市計画道路の検証や見直しについて、歴史まちづくりを進めるために、大胆かつ速度を上げて検討して欲しい。 【屋外広告物について】 ・市屋外広告物条例の制定を急ぎ、歴史的地域にふさわしい屋外広告物の規制誘導を強めてほしい。 ③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項 【歴史的風致形成建造物修理・修景事業】 ・歴史的風致形成建造物を多く指定し、かつ市所有のものが多いのは特筆すべきところ。さらなる指定の拡大と修理修景を適切に進めてほしい。 【嘉右衛門町伝建地区拠点施設整備事業】 ・嘉右衛門町伝建の拠点施設整備事業は大事業であり、市は計画的に事業を進行してほしい。 【伝統的技術継承事業】 ・とても良い取り組みである。 【景観重要建造物保全事業】 ・「歴史的風致形成建造物修理・修景事業」、「歴史的町並みに関する修景事業」及び「景観重要建造物保全事業」を整理、統合を検討してほしい。 【無電柱化事業】 ・無電柱化事業は既に他都市の伝建地区等では実現しているので、敏速に事業化を図ってほしい。 【祭礼・民俗芸能等の記録保存事業】 ・市域内の伝承等についても積極的に記録保存することをお願いしたい。 【歴史・文化に関する解説ボランティア人材育成事業】 ・ボランティアの育成については、多数の文化財、観光等に合わせた人材、グループが必要である。このため、全体を総括する本部が中心となり、全体研修、部門別、地区別等の研修を実施し、人員を振り分ける等全庁的なボランティア育成計画が必要と思料される。 【駐車場整備事業】 ・駐車場ができたことは評価できる。整備についてだが、案内版等や、交通体系の検討整備が必要であろうと思料される。 ④文化財の保存又は活用に関する事項 【文化財の調査、指定、保存管理について】 ・市文化財保存活用地域計画の策定を検討してほしい。 ⑤その他 ・全体的に努力が見られる。 (今後の対応方針) 本市の歴史的風致維持向上を図るため、各慣例法令、条例等に基づき、整合性を図りつつ事業を進めてまいります。 また、各事業については、実態や課題に応じた取り組みの推進を行い、本市の歴史的風致維持向上に努めてまいります。	